

2006 FJ 日本一決定戦

FJ MASTERS RACE in MOTEGI

12月17日 レースレポート



東 徹次郎

Tohjiro Azuma

第2レグは大逆転で初のトップチェッカー
運命のファイナル、届かなかった日本一！！

2006 FJ 日本一決定戦

- 開催日：2006年12月17日
- 場所：ツインリンクもてぎフルコース（4.801km）
- 天候：曇り / 晴れ
- 参加台数：55台
- マシン名：ASスカラシップR&DED（R&D FV2K）
- Car No.：62
- チーム：AUTOSPORT with Le Beausset



公式予選 (2006/12/17/8:30~)

■ 出走台数：18台 (B組) 天候：曇り コース：ドライ

早朝の8時半、若干路面の湿っている場所が残るコンディションのなか予選B組が始まった。

自分は予選が早朝ということで路面温度を低いことを想定していた為、チームと相談の結果前日に2 Lapほど走行して新品タイヤの皮むきを終えていました。その為、前回の予選時よりも最初から安定して走り始めることが出来ました。

予想通り前半からトップタイムを出すことができ、常にタイムの掲示はP1です。予選が中盤に入った頃、前方が少し渋滞気味だったのでスロー走行で前との間隔を開け、最後単独でアタックしようと位置取りを確認する余裕も出ていました。

マシンの状態といえば、前日のセットのままですが路面がまだ出上がっていないせいか、リアが若干硬い感じでしたがそこまで問題になるほどではありませんでした。

残り1分前方もクリア、タイヤも発熱してさあラストアタックです。しかしここで予想外の展開が一つ起きました。3・4コーナーを立ち上がって見えたものはコースに復帰した1台のマシン。しかも運悪く遭遇したのは5コーナーのブレーキングからターンインする場所です。

思いもかけない展開で若干タイムロスをしてしまいましたが後半はまとめることができ、チェッカー。一応タイムアップして掲示ではそのままトップでした。しかし、ピットに戻ってきたら3位になっています。そう、自分は最初の方にチェッカーを受けたようで、終始トップにいながら最後に逆転されるという悔しい結果で予選は終了しました。

タイム：2 07 . 687

予選結果：3位

FJ1600 公式予選 B グループ結果表

WEATHER : Cloudy COURSE : Dry Road Course 4.801379Km

Pos	Champ No.	Name	Time	Delay	Gap	Lap	Type	Car Name
1	82	大野浩太郎	2'06.831	136.28Km/h		9/9	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
2	62	東 徹次郎	2'07.687	0.856	0.856	9/9	R&D FV2K	AS スカラシップ R&DED
3	81	土森 一了	2'07.962	1.131	0.275	8/9	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
4	31	岸 良一	2'08.240	1.409	0.278	8/10	オスカー SK02	DLP RG タツミ SKED
5	99	細川 健治	2'08.408	1.577	0.168	10/10		N.A CRUE ワコーズ ED
6	9	渡部 武典	2'08.560	1.729	0.152	10/10	オスカー SK96	G ヨシダ P&P 龍美ラムズ 96
7	50	西村 和則	2'08.997	2.166	0.437	9/9	R&D FV95	ZAP AK50 FV95ED
8	27	丸山 和宏	2'09.135	2.304	0.138	9/9	オスカー SK96	ZAPSPEED SK96ED
9	28	伊藤 寛人	2'09.344	2.513	0.209	9/9	R&D FV95	WRS extremoFV95
10	77	小島 靖弘	2'09.397	2.566	0.053	8/9	オスカー SK96	F ラムズ コジマ
11	23	古田 聡	2'09.488	2.657	0.091	7/7	FRD MF105	TRSbrmEVO105ED 藤
12	37	シャア・タケガハラ	2'09.961	3.130	0.473	9/9	R&D FV95	ZAP シーケンス 95 ラムズ逆襲
13	10	笹本 耕平	2'10.568	3.737	0.607	7/9	R&D FV2K	エンドレス FV2K・レプリ
14	32	長 優子	2'14.096	7.265	3.528	9/9	オスカー SK02	SAM 大信関口 EDSK02
15	7	桑原 耕平	2'14.413	7.582	0.317	4/5	ウエスト 04J	MK サービス ZEST04J
16	25	笹田 明裕	2'17.922	11.091	3.509	2/4	オスカー SK96	ZAPSPEED96ED

以上 第1レグBグループ出場:

以下 シード選手:

富士	83	早野 光宣	2'07.022	0.191		10/10	オスカー SK96	サンクス ウィンズ with93
岡山	22	松井 孝允	2'08.376	1.545	1.354	8/10	R&D FV2K	ギディ・アップ OICK2KED

予選通過基準タイム (130%) 2'45.741

第1レグ(2006/12/17 5Lap)

■ 出走台数：15台(B組) 天候：曇り コース：ドライ

この第1レグは各シリーズのチャンピオンはシード選手で免除の為、自分は一ツ繰り上がって2位からのスタートとなります。そして5周という超スプリントレース。自分の作戦は最初から決まっていた。それは自分の得意な1・2周で絶対に前に出ることです。

スタートはドンピシャで決まり、1コーナーの進入で82号車のインを捕らえました。しかし3コーナーの立ち上がりからスリップストリームに入られてしまい、5コーナーで抜かれてしまいます。ここから2台で毎週トップを入れ替えるバトルモードに入っていきます。

そして2位で迎えた3周目のダウンヒルストレートでスリップストリームに入り、なんとか90度コーナーのブレーキングでインに入ります。しかし抜ききれず併走のままトンネルへ。加速競争で少し前に出られてしまったので、自分は最終のビクトリーコーナーでクロスをかけようと考えます。

トンネルを出てすぐの小さい左コーナー、自分はマシンを一気に左に振りました。その瞬間です。82号車がコーナーに備えてアクセルを少し緩めたのかはわかりませんが、確実に一瞬減速状態になりました。それが左に振ったのと重なって接触。自分は相手のリアに乗り上げフロントが持ち上がってノーズの破片が飛び、一瞬空が見えたくらいでした。そしてピットロードの入り口付近で着地しました。

この瞬間、ヤバイ、第1レグリタイヤか？ということが頭によぎりました。しかし何とかコース上に留まったのととりあえずタイヤは付いていたので、そのまま復帰。ですが明らかにステアリングは左に曲がっています。あと2周なんとか。

82号車がストップした為自分は2位でしたがすぐ後ろに2台来ています。やはり接触の影響は大きく左コーナーが全然曲がらない状態で、更に足回りに異常なのでストレートスピードも落ちてブレーキング時に変な挙動が発生していました。頑張っただけは抜き返したのですが、結局3位で第1レグを終えました。

第1レグ(B組)結果：3位

ベストタイム：2 08 . 588

FJ1600 第1レグ B グループ結果表

WEATHER : Cloudy COURSE : Dry Road Course 4.801379Km

Pos * No.	Name	Lap	Total	Delay	Best Lap	Type	Car Name
1 81	土森 一了	5	10'54.033	132.14Km/h	2'08.505 4/5	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
2 99	細川 健治	5	10'55.427	1.394	2'08.371 5/5		N.A CRUE ワコーズ ED
3 62	東 徹次郎	5	10'55.555	1.522	2'08.588 5/5	R&D FV2K	AS スカラシップ R&DED
4 31	岸 良一	5	10'56.346	2.313	2'08.940 3/5	オスカー SK02	DLP RG タツミ SKED
5 9	渡部 武典	5	10'59.373	5.340	2'09.178 4/5	オスカー SK96	G ヨシダ P&P 龍美ラムズ 96
6 28	伊藤 寛人	5	11'02.172	8.139	2'08.635 5/5	R&D FV95	WRS extremoFV95
7 50	西村 和則	5	11'04.875	10.842	2'09.514 4/5	R&D FV95	ZAP AK50 FV95ED
8 77	小島 靖弘	5	11'11.083	17.050	2'09.735 5/5	オスカー SK96	F ラムズ コジマ
9 37	シャア・タケガハラ	5	11'13.045	19.012	2'11.527 5/5	R&D FV95	ZAP シーケンス 95 ラムズ逆襲
10 10	笹本 耕平	5	11'13.061	19.028	2'11.782 3/5	R&D FV2K	エンドレス FV2K・レプリ
11 25	笹田 明裕	5	11'20.199	26.166	2'09.766 3/5	オスカー SK96	ZAPSPEED96ED
12 * 27	丸山 和宏	5	11'24.404	30.371	2'09.758 5/5	オスカー SK96	ZAPSPEED SK96ED
13 82	大野浩太郎	3	6'37.323	2Laps	2'09.355 2/3	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
14 23	古田 聡	2	12'07.941	3Laps	2'11.862 2/2	FRD MF105	TRsbrmEVO105ED 藤
15 32	長 優子	0		5Laps		オスカー SK02	SAM 大信関口 EDSK02

BEST TIME No. 99 細川 健治 N.A CRUE ワコーズ ED 2'08.371 5/5 134.65Km/h

*No.27 2006 FJ MASTER RACE in MOTEGI 大会特別規則書 第38条 違反(反則スタート)により、ドライビングス
ルーパーナルティを課した。



第2レグ(2006/12/17 6Lap)

■ 出走台数：25台(B組) 天候：曇り コース：ドライ

第1レグでのマシンのダメージは、けっこう深刻で右フロントのアームを全て交換という作業になってしまいました。第2レグまでの間隔が少ないなか、チームの懸命な作業のおかげでアライメントもチェックしてもらって何とか間に合いコースイン。

第2レグからいよいよシード選手の登場です。しかもフロントローがシード選手になる為、自分は7番手という厳しい位置からのスタートとなります。チームからはスタート前、ファイナルで優勝争いする為には第2レグ3位までにゴールすれば可能性があるから、焦らず行ってこいと言われました。そしてスタート直前のグリッドで坪松代表からも一つ、お前の持ち味は攻撃的な走り。だから自信を持ってそれを発揮してこいと言って頂きました。

しかし気合いが空回りのスタートでシフトミス、1コーナーまでに2台に抜かれ9番手に。ですがすぐ1コーナー、3コーナーのブレーキングで挽回して7位に戻り、S字コーナーではアウトから前走者をパス。タイヤもしっかり発熱し、1周目から手応え十分でした。おまけにトップ争いは5台連なってバトルしているので、すぐに追いつきました。

第1レグでは勢いよく行き過ぎた部分もあったので、じっくり見て1台1台確実に抜こうと自分に言い聞かせ、落ち着いていました。4位に上がったとき、チャンスは訪れました。3・4コーナーを立ち上がったストレート、2番手の83号車がトップを抜こうとインに行き3位のマシンは逆にアウトへ、自分は加速でスピードが乗っていたのでそのまま83号車のスリップストリームに入ります。このおかげで3位のマシンをパスし、更に83号車に便乗して自分もブレーキングでトップのマシンをパスすることに成功し2台抜きで2位です。

勢いのあった自分は、その後83号車もパスしてとうとうトップに立ちます。ここからトップ争いのバトルです。ダウンヒルストレートで並べられますが90度コーナーのブレーキングをギリギリまで我慢しふせいではいましたが、ファイナルラップで白煙を上げ90度に突入、併走して立ち上がりますがついに抜き返されてしまいました。

こうなっては抜き返す場所はありませんが、前の周から見ていてわかっていたのは最終のビクトリーコーナーの立ち上がり、自分の方がアクセルを早く踏めていて立ち上がりが速いということ。ラストチャンス、全てをここの立ち上

がりに合わせました。ピッタリ合わせてワンテンポ早くアクセルオン、立ち上がりの加速競争です。向こうは自分を意識してかインに寄ってブロックラインを取りましたが、逆にこれは自分にとってプラスとなります。なぜならステアリングを余分に切る必要が無いので抵抗無くまっすぐ立ち上げられるのですから。4速へのシフトアップで横に並びかけてついにコントロールラインが見えたとき、いけると確信しました。

第2レグ 0,012 秒差という僅差で差しきって、FJ初のトップチェッカーです。しかも一時は9位まで落ちたので、これで第1レグの接触の分も取り返すことが出来ました。

第2レグ (B組) 結果 : 1位

ベストタイム : 2 08 . 161



FJ1600 第2レグ Bグループ結果表

WEATHER : Cloudy COURSE : Dry Road Course 4.801379Km

Pos	Champ No.	Name	Lap	Total	Delay	Best Lap	Type	Car Name
1	62	東 徹次郎	6	12'59.975	132.97Km/h	2'08.161 6/6	R&D FV2K	AS スカラシップ R&DED
2	富士 83	早野 光宣	6	12'59.987	0.012	2'07.999 6/6	オスカー SK96	サンクス ウィンズ with93
3	81	土森 一了	6	13'00.401	0.426	2'08.008 5/6	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
4	26	伊藤 善博	6	13'00.669	0.694	2'07.460 6/6	R&D FV2K	テイクファースト FV2K 制動屋
5	AP 70	福田 詩久	6	13'01.296	1.321	2'07.634 6/6	オスカー SK02	FS プロジェクト戸田ラムズ
6	71	北野 和行	6	13'01.608	1.633	2'07.654 6/6	R&D FV2K	憩の郷オレンジテイクファースト
7	筑波 91	大森 弥	6	13'03.113	3.138	2'07.508 5/6	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
8	72	河津 光晴	6	13'03.463	3.488	2'07.959 5/6	オスカー SK96	NATS・IDI・SK96
9	2	中野 和宣	6	13'03.626	3.651	2'08.166 6/6	ウエスト 04J	Tamaki-GP レブリ
10	1	菊池 博憲	6	13'04.485	4.510	2'07.862 6/6	オスカー SK02	大信 SK02 関口 ED ウッドアイ
以上 ファイナル進出:								
11	13	大畑 修視	6	13'07.482	7.507	2'07.882 6/6	R&D FV95	ZAP SPEED FV95
12	39	野間 一	6	13'09.819	9.844	2'07.690 5/6	オスカー SK02	EMS SK02
13	11	小山 圭	6	13'10.055	10.080	2'07.663 6/6	R&D FV95	ZAP 会津オーケイズ ED
14	67	藤井 俊彦	6	13'15.997	16.022	2'09.597 5/6	オスカー SK96	DeepR 堀住木工所 96ED
15	50	西村 和則	6	13'16.166	16.191	2'09.407 5/6	R&D FV95	ZAP AK50 FV95ED
16	17	渡辺 義人	6	13'33.787	33.812	2'11.860 6/6	オスカー SK96	ZAP エクシズ工藤 SK96ED
17	25	笹田 明裕	6	13'33.866	33.891	2'08.764 4/6	オスカー SK96	ZAP SPEED96ED
18	12	安藤 純樹	6	13'35.046	35.071	2'12.409 6/6	オスカー SK91 改	オートルック EVOLEXSK1
19	37	シャア・タケガハラ	6	13'35.088	35.113	2'10.340 6/6	R&D FV95	ZAP シーケンス 95 ラムズ逆襲
20	29	草野 雅人	6	13'39.791	39.816	2'12.428 6/6	マキシム 309	GARAGEbenten309
21	21	太田 浩	6	14'29.020	1'29.045	2'12.228 4/6	オスカー SK02	オスカーレーシングミストラムズ
22	9	渡部 武典	5	10'53.470	1Lap	2'07.832 4/5	オスカー SK96	G ヨシダ P&P 龍美ラムズ 96
23	82	大野浩太郎	1	6'35.366	5Laps	6'35.366 1/1	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
24	61	寺島 純	0		6Laps		R&D FV98	プライベートで参戦 FV98ED
25	8	森下 陽介	0		6Laps		R&D FV2K	エンドレス FV2K・ZAP 丸保
以上 敗者復活第2レグ出場:								
	33	富田 充		出走せず		6Laps	オスカー SK96	TMT-SK メッカ・ED

BEST TIME No. 26 伊藤 善博 テイクファースト FV2K 制動屋 2'07.460 6/6 135.61Km/h

ファイナル(2006/12/17 10Lap)

■ 出走台数：25台(B組) 天候：晴れ コース：ドライ

いよいよファイナル。フロントロー2番手スタートという最前列からのスタートです。絶対に混戦となることはわかっていたので、前半はじっと温存してスキあらば前に行き、後半勝負をかける作戦でいました。

スタート、シフトミスはしなかったのですが若干ホイールスピンし、3位で1コーナーをクリアします。前の43号車は今回最初から14号車にしかけていき序盤から激しいトップ争いとなっていきます。自分はこのとき仕掛けようとはせずにその様子を見て走っていました。そして2台が膨れたり失速したときにロス無くすぐ2位に上がるのですが、ストレートですぐ抜き返されてしまうという展開です。

その為スリップストリームに入っても無理してブレーキングでインに飛び込まずに、まずは勝負どころまで比較的じっと見ていました。が、やはり第2レグで戦った83号車が抜きにかかってきて、何回かポジションを入れ替える状態に。

4位でもトップと離れずついて行ければ後半勝負をかけることが出来るので良いと思っていたのですが、中盤を過ぎたあたりで83号車がダウンヒルストレートをイン側で走ってブロックラインを取り始めます。こうなると抜きに行かざる得ないので、ブロックしているのでなかなか前に出れない状態になってしまい、この間にトップとの差が広がってしまいました。

そして後半は第2レグと同じような展開で83号車と3位をかけたのバトルとなってしまいます。ファイナルラップ目のビクトリーコーナー、プレッシャーをかけて後ろにくっついていたら、83号車は進入を突っ込みすぎたのか単独スピン。これで自分は3位ですが、トップと2位とは少し離れてしまって結局3位チェッカーとなってしまいました。

ファイナル結果：3位

ベストタイム：2 06 . 749

FJ1600 ファイナル 正式結果表

WEATHER : Fine COURSE : Dry Road Course 4.801379Km

Pos	Champ	No.	Name	Lap	Total	Delay	Best	Lap	Type	Car Name
1	鈴鹿	43	八重樫啓太	10	21'19.475	135.09Km/h	2'05.824	7/10	R&D FV2K	テイクファースト 2K 制動
2	もてぎ	14	井川 高博	10	21'21.449		1.974 2'06.135	8/10	オスカー SK96	スクーデリアコミュ SK トリイ
3		62	東 徹次郎	10	21'25.411		5.936 2'06.749	10/10	R&D FV2K	AS スカラシップ R&DED
4	岡山	22	松井 孝允	10	21'26.072		6.597 2'06.198	10/10	R&D FV2K	ギディ・アップ OICK2KED
5		99	細川 健治	10	21'28.556		9.081 2'06.893	8/10		N.A CRUE ワコース ED
6		71	北野 和行	10	21'28.696		9.221 2'06.744	7/10	R&D FV2K	憩の郷オレンジテイクファースト
7		26	伊藤 善博	10	21'29.182		9.707 2'07.584	4/10	R&D FV2K	テイクファースト FV2K 制動屋
8	富士	83	早野 光宣	10	21'31.305		11.830 2'07.034	10/10	オスカー SK96	サンクス ウィンズ with93
9		19	MIKA	10	21'33.160		13.685 2'06.364	6/10	R&D FV2K	IDI・K&Nbp・ATG2K
10		23	古田 聡	10	21'33.360		13.885 2'06.467	8/10	FRD MF105	TRsbrmEVO105ED 藤
11		78	吉田 宣弘	10	21'33.760		14.285 2'07.371	8/10	オスカー SK96	AMCF タツミレーシング ED
12		2	中野 和宣	10	21'34.041		14.566 2'06.868	5/10	ウエスト 04J	Tamaki-GP レプリ
13		82	大野浩太郎	10	21'34.487		15.012 2'06.151	6/10	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
14		73	白坂 卓也	10	21'34.818		15.343 2'06.841	9/10	ウエスト 04J	Tamaki-GP 波奈グループ
15		31	岸 良一	10	21'45.053		25.578 2'07.843	6/10	オスカー SK02	DLP RG タツミ SKED
16		66	藤田 祐貴	10	21'45.693		26.218 2'07.561	9/10	オスカー SK02	Deep 三田工業 02 トリイ ED
17		13	大畑 修視	10	21'45.950		26.475 2'07.323	9/10	R&D FV95	ZAP SPEED FV95
18		21	太田 浩	10	21'46.342		26.867 2'06.415	9/10	オスカー SK02	オスカーレーシングミストラムズ
19		72	河津 光晴	10	21'48.917		29.442 2'08.024	9/10	オスカー SK96	NATS・IDI・SK96
20		18	鈴木 修平	10	21'49.679		30.204 2'07.646	10/10	R&D FV95	AUTOLOOK・KSSFV
21		15	仁木 圭之	10	21'50.274		30.799 2'07.921	10/10	オスカー SK96	ZAP エクシズ 三恵会 96ED
22		94	藤原 大樹	10	21'51.350		31.875 2'06.181	10/10	オスカー SK96	rss ウィンズ制動 SKver15
23		9	渡部 武典	10	21'52.923		33.448 2'07.005	8/10	オスカー SK96	G ヨシダ P&P 龍美ラムズ 96
24		39	野間 一	10	21'53.254		33.779 2'07.181	10/10	オスカー SK02	EMS SK02
25		81	土森 一了	10	21'58.794		39.319 2'07.343	8/10	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
26		69	伊藤 聡	9	19'48.062		1Lap 2'07.376	8/9	オスカー SK02	DEEP AS02 トリイ ED
以上 規定周回数完走:										
	筑波	91	大森 弥	1	2'22.147		9Laps 2'22.147	1/1	オスカー SK96	ウィンズ#93Godspeed
		88	木村 友哉	1	2'22.298		9Laps 2'22.298	1/1	オスカー SK96	winds 制動一年間皆様に感謝
		1	菊池 博憲	1	2'22.556		9Laps 2'22.556	1/1	オスカー SK02	大信 SK02 関口 ED ウッドアイ

AP 70 福田 詩久 0

10Laps

オスカー SK02 FS プロジェクト戸田ラムズ

BEST TIME No. 43 八重樫啓太 テイクファースト 2K 制動 2'05.824 7/10 137.37Km/h

規定周回数 7



今回の反省

今回は攻めるレースが出来たと思っています。今回のレースウィークは前回の反省から自分の走りを見つめ直し、そしてストレートをいかに速く立ち上がりアクセルを踏んでいけるか、そういう乗り方とマシン作りを課題に取り組んできました。

これがうまくいき、最終のビクトリーコーナーからの立ち上がりは今までで一番速かったと思いますし、現に第2レグでは1コーナーで何回もパッシングすることが出来ました。そして予選からファイナルを通して一度もセッティングを変えなかったこと、これはマシンが決まっていたということになります。

しかし第1レグでちょっと気負いすぎというか、早く仕掛けようとしたせいで接触してしまったというのは反省点です。ですが、だからこそ第2レグでは落ち着いてレースを管理することが出来たのも事実です。

ファイナルはレース中盤何回かスキをついてトップ争いに割って入ったのですが、ブレーキング競争に持っていく前に主導権を取られていたので、タイヤがタレて荒れてきそうな後半勝負に賭ける作戦しか狙っていませんでした。ただ全ては3位争いに巻き込まれてしまったことが敗因です。



最後に

年末のお忙しい中応援に来て頂いた方々、遠くまで本当に有難うございました。メールでのメッセージやホームページへの書き込み、お電話など本当に有難い限りです。

一年間参戦してこれたのは自分を支援して下さっているスポンサーの方々や家族、そして応援して下さいしている全ての方々のお陰です。

2006年シーズンはもてぎシリーズランキング3位、日本一決定戦はファイナル3位という結果で終了致しました。今年の初めと比べマシンのセットアップ&乗り方が向上出来たことは実感しております。だからこそ最後のレースである日本一決定戦の第2レグで逆転のトップチェッカーを受けることが出来たのだと思いますし。

応援・支援して下さい下さったスポンサーの皆様、シリーズチャンピオンと日本一を逃してしまい本当にすみませんでした。

今回第1レグの接触から急ピッチで修理してくれたチームにも本当に感謝です。一年間有難うございました。

まだ来年は決まっておりませんが、決まり次第すぐにご連絡していきたいと思えます。どうかこれからもご支援ご声援の程宜しくお願い致します。

2006年12月17日

東 徹次郎

